

卒業研究 2 (地域医療薬学分野)

責 任 者・コ-ディネ-ター	地域医療薬学分野 高橋 寛 教授 地域医療薬学分野 松浦 誠 特任教授
----------------	--

・教育成果 (アウトカム)

2025年の医療・介護のモデル(地域包括ケアシステム)の中で薬剤師の果たす役割が注目されている。また、コロナ禍の中で医療制度も変化している。今後、電子処方箋やリフィル処方箋、オンライン服薬指導やオンライン資格確認制度など医療システムのデジタル化が進む。今後、薬局薬剤師は健康サポート薬局や在宅医療、感染症対策やセルフメディケーションの支援など調剤以外の業務に取り組む必要がある。当分野では、海外の薬剤師の活動の文献による情報収集をはじめ、日本の地域医療における薬剤師業務の問題点を明確にし、改善策を検討していく。薬局や薬剤師や地域住民にアンケート調査を行い、ケアマネージャーなどの多職種と交流し、地域連携のあり方についても研究を行う。このような調査、研究活動を通して、地域医療に関する知識や研究手法を習得する。また、研究報告会や研修活動にて、プレゼンテーション技能やコミュニケーション能力を養う。研究テーマは、当分野の研究領域の範囲内から関心・興味を考慮して決定する。

(ディプロマ・ポリシー: 1,3,4,5,6,7,8,9)

・到達目標 (SBO)

1. 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる(1061)。
2. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る(1062)。
3. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる(1063)。(知識・技能・態度)
4. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う(1064)。(態度)
5. 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる(1065)。
6. 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる(1066)。
7. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規を遵守して研究に取り組む(1067)。(態度)
8. 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる(1068)。(知識・技能)
9. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する(1069)。(知識・技能)
10. 研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる(1070)。(技能・態度)
11. 研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する(1071)。(知識・技能・態度)
12. 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる(1072)。(知識・技能・態度)
13. 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる(1073)。(技能)
14. 質的研究の手法について説明できる。(☆)

・実習日程

コマ数	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
60	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 松浦 誠 特任教授	薬局で行われている地域医療サービスに着目し、医療の質にどのような影響を及ぼすかを研究する。また、地域医療サービスに必要な薬学的業務の調査を行う。最終的に地域医療で活躍できる薬剤師に必要な知識や技能を身につける研修プログラムの構築を行う。

			1. 研究課題を解決するために調査計画を立案することができる。 2. 立案した計画に基づき、調査を遂行することができる。 3. 調査から得られた情報を評価及び考察しプレゼンテーション及び文章化することができる。
--	--	--	---

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学修の基本と手法	鈴木 敏恵	教育出版	2012

・特記事項・その他

学外へ出向き、地域の情報収集活動を行うことがあります。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（パナソニック CF-SV）	1	スライド投影
講義	パソコン(Microsoft Surface Laptop Model 1769)	1	スライド投影、資料作成
実習	デスクトップパソコン ESPRIMO 一式	1	レセコン、薬歴演習